

入院中にステロイドの経口・静注された小児喘息患者の割合

QI 項目の解説

入院されている尿道留置カテーテルを使用した患者さんのうち、カテーテル関連症候性尿路感染症に罹患した割合を示しています。

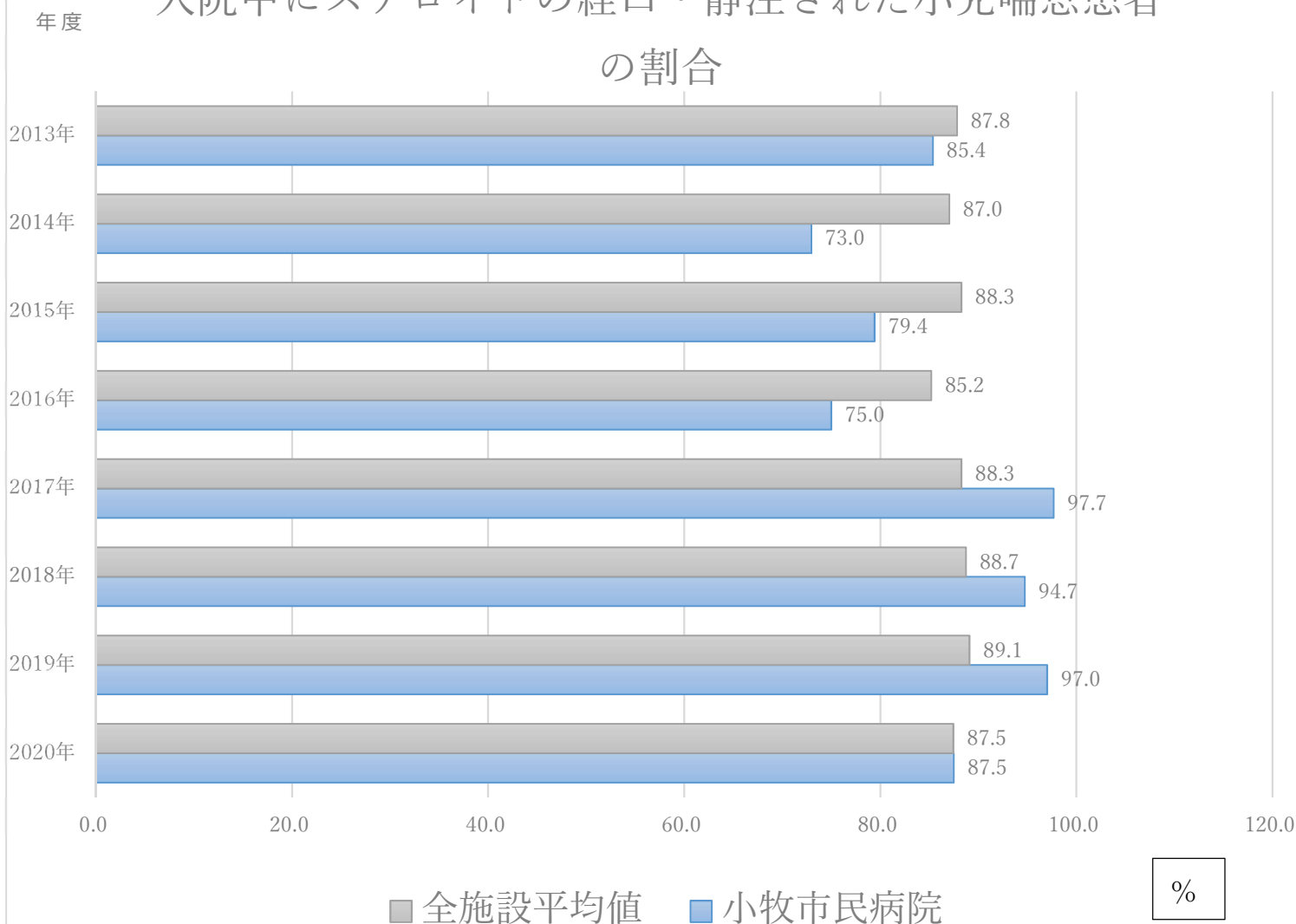
症候性尿路感染症発症割合

QI 指標の定義・計測方法

分子：入院中にステロイドの全身投与『静脈注射・経口投与』
を受けた患者数

分母：2歳から15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で
入院した患者数 ×100【%】

入院中にステロイドの経口・静注された小児喘息患者の割合



2020 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

2020 年度は全施設平均値と比べて大きく投与割合は減りました。COVID-19 パンデミックの影響でその他の感染症が大きく減り、感染症を契機とした喘息発作患者も減り、重症発作も減ったためと考えます。

2020 当院データと 2019 当院データとの比較・原因分析

2019 年より大きく割合は減ったが、原因は上記と考えます。

数値改善に向けた今後の取り組み

現状維持に心がけます。

2019 当院データ評価時の改善策の実施状況と評価

患者さんの重症度、ご年齢などを考慮した上で、今後も同様の治療を行います。